

(5) 東海



東海地域では、景気は持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

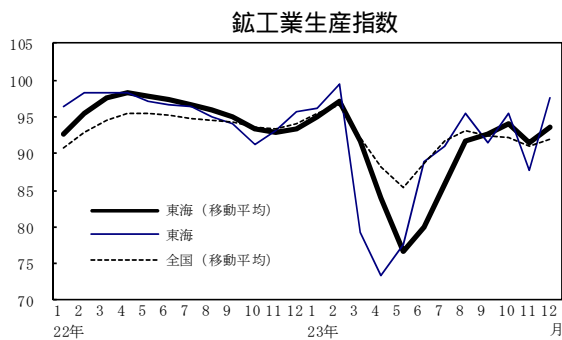
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 23 年 11 月)	今回 (平成 24 年 2 月)	
個人消費	おおむね横ばい	持ち直しの動き	
住宅建設	増加	大幅に減少	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直している。

輸送機械は、乗用車や自動車部品が、東日本大震災やタイの洪水被害からの挽回生産により大幅に増加した。一般機械は、中国向けに弱い動きがみられ、金属工作機械等が減少した。電子部品・デバイスは、スマートフォン向けが堅調に推移したこと等から増加した。プラスチック製品は、主力の工業用製品が自動車業界の挽回生産等を受けて増加したこと増加した。化学は、医薬品の生産増加が寄与して増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産		出荷	在庫
		7~9 月期	10~12 月期	10~12 月期	10~12 月期
輸送機械	37.5	51.2	4.0	4.3	▲28.5
一般機械	12.7	0.2	▲4.6	▲2.1	0.3
電子部品・デバイス	6.8	▲4.1	2.5	3.4	5.8
プラスチック製品	5.4	11.9	1.9	0.7	6.6
化学	5.0	▲2.0	1.8	3.6	▲2.9
鉱工業	100.0	15.8	1.1	0.7	▲2.4

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

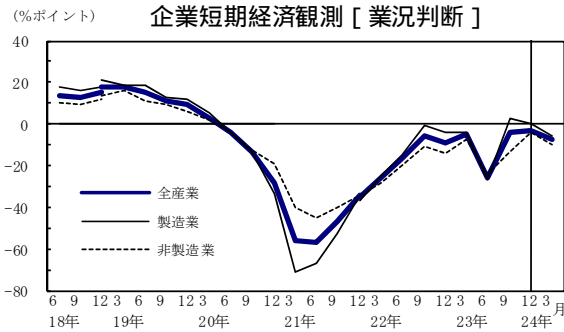
2. 生産指数は東海。出荷、在庫指数は中部。

(備考) 1. 17年=100、季節調整値。

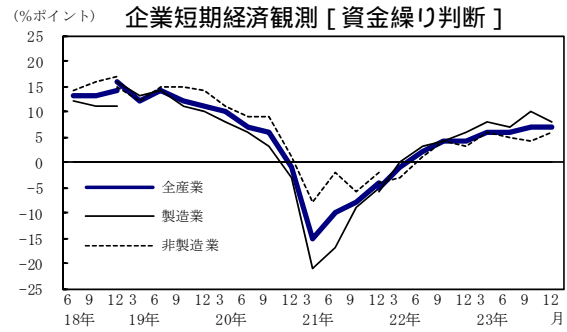
2. 全国及び東海の太線は後方3か月移動平均。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

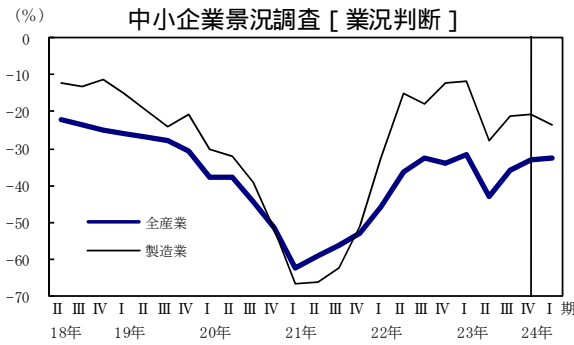
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考) 「良い」 - 「悪い」回答者数構成比。24年3月は予測。
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。



(備考) 「楽である」 - 「苦しい」回答者数構成比。
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。



(備考) 「好転」 - 「悪化」回答者数構成比。24年I期は見通し。
中部地区。

景気ウォッチャー調査(1月)[企業動向関連(現状)]

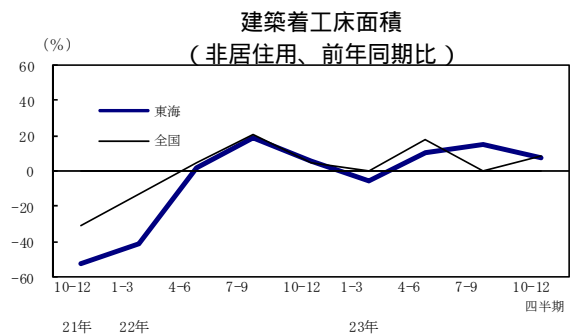
「低迷が続いている。受注量、販売量共に、前年実績と比べて後退している。ただし、大きく悪化しているわけではなく、横ばいに近い(鉄鋼業)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 23年度の設備投資は前年度を上回る計画となっている。

企業短期経済観測調査 [設備投資(12月調査)]

	(前年度比、%)	
	22年度実績	23年度計画
全産業	3.1	8.9 (7.6)
製造業	2.5	13.2 (11.2)
非製造業	3.6	5.4 (4.7)

(備考) 1. ()は前回(9月)調査結果。
2. 22年度以降は、計画はリース会計対応ベース。



2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きがみられる。

大型小売店販売額

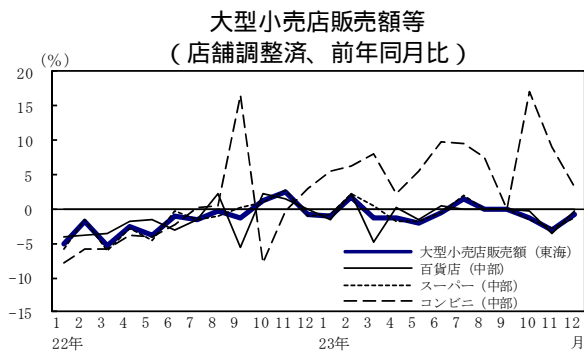
大型小売店販売額は、前年同期比で1.7%減、前期比で0.8%増となった。

百貨店は、10月は、地元プロ野球チームの優勝セール等の催事効果で来客数が増加したこと等から前年比低下幅が縮小した。11月は、気温が高めに推移し、冬物衣料が振るわなかったこと等から前年比低下幅が拡大した。12月は、気温の低下により冬物衣料に動きがみられたこと等から前年比低下幅が縮小した。

スーパーは、家電エコポイント減少前の駆け込み需要の反動減や11月に気温が高めに推移した影響で食料品や冬物衣料が振るわなかったこと等から減少した。

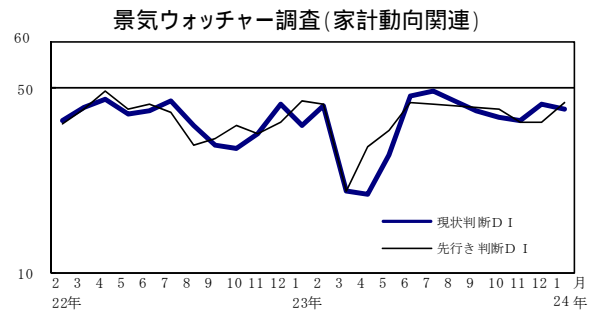
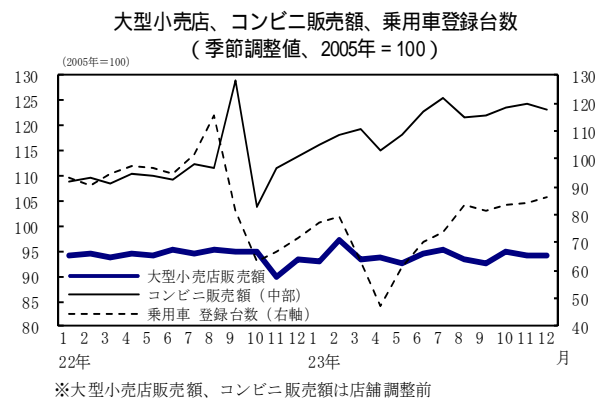
景気ウォッチャー調査(1月)[家計動向関連(現状)]

「初売り、セール期間中は前年よりも盛況であったものの、セール期間の終了後は一転して非常に厳しくなっている。余計な物は極力買わないという姿勢は変わっていない。年初の動きを見て景気は回復すると期待していただけに残念である(百貨店)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



	23年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
大型小売店(*1)	▲0.2	▲1.3	▲0.9	▲1.7
百貨店(*1)	▲1.6	▲0.3	▲0.7	▲1.3
スーパー(*1)	0.5	▲1.4	▲1.2	▲1.9
大型小売店(*2)	▲0.5	▲1.5	▲1.5	▲1.0
(季節調整値)(*3)	(1.9)	(▲0.9)	(0.1)	(0.8)
乗用車(*4)	▲22.9	▲36.9	▲18.2	26.1
(季節調整値)(*4)	(9.3)	(▲19.1)	(33.5)	(6.7)

(備考) 1. 店舗調整済、前年同期比(%)。百貨店、スーパーは中部
2. 店舗調整前、前年同期比(%)
3. 店舗調整前、前期比(%)
4. 乗用車は新規登録・届出台数
(上段：前年同期比、下段：前期比、%)



(2) 住宅建設は大幅に減少している。

持家、貸家、分譲が前年を下回ったことから、大幅に減少している。

(3) 公共投資は23年度累計で見ると前年度を下回っている。

